

第9次静岡県長寿社会保健福祉計画の策定

今年度策定する第9次静岡県長寿社会保健福祉計画の最終案について、御意見いただくものである。

第9次静岡県長寿社会保健福祉計画 全体像

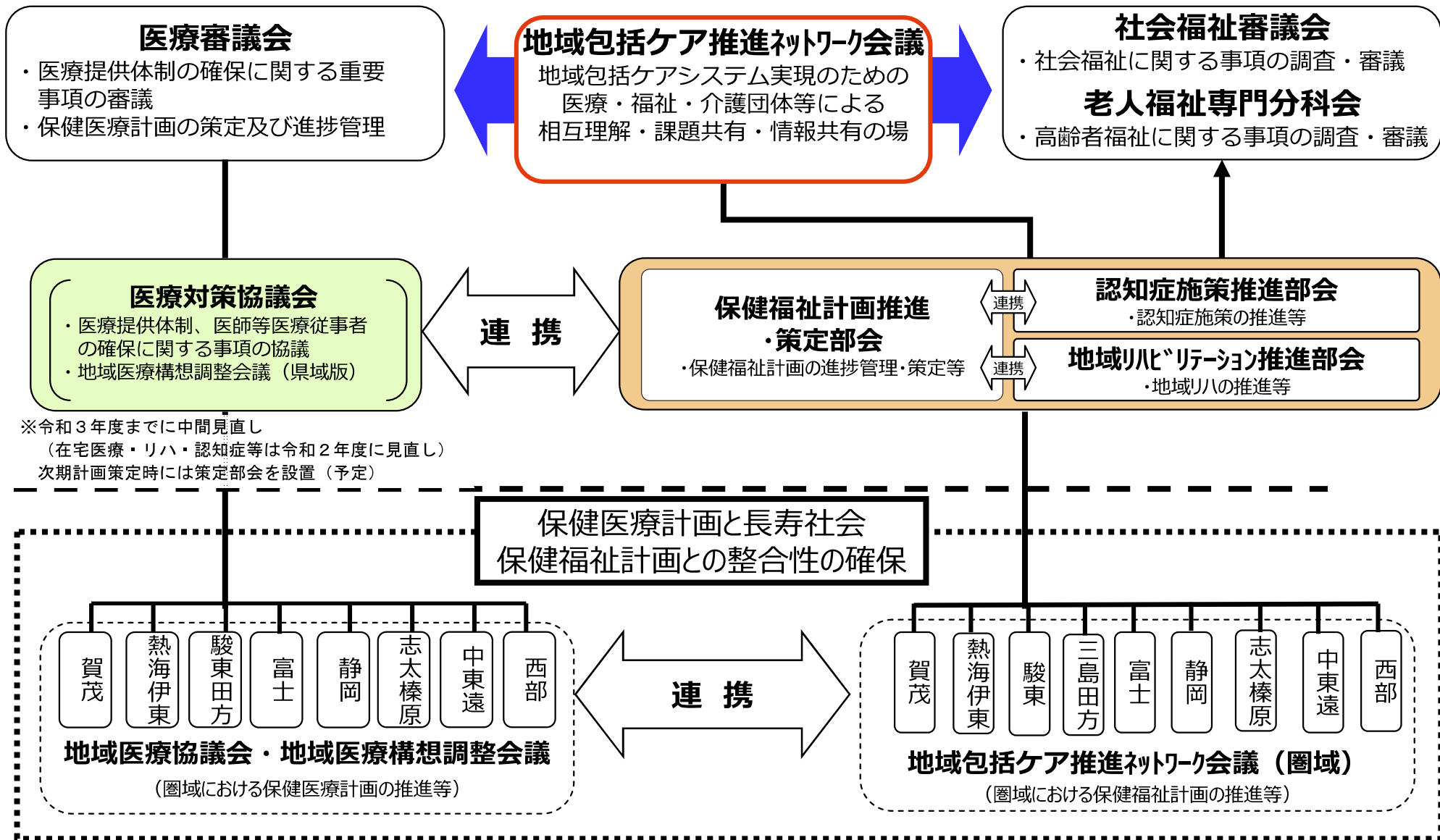
令和3年3月16日

令和2年度 第3回 地域包括ケア推進ネットワーク会議

保健医療計画及び長寿社会保健福祉計画の推進体制

保健・医療

福祉・介護



計画推進・策定部会の委員

◎委員

任期:令和元年8月1日～令和3年5月31日、敬称略、50音順

区分	所属・役職	氏名
部会長	静岡県老人福祉施設協議会 相談役／（社福）春風会 理事長	石川 三義
副部会長	（一社）静岡県医師会 理事	岡 慎一郎
委員	（一社）静岡県訪問看護ステーション協議会 理事／（公社）静岡県看護協会	石神 弘美
委員	（公社）認知症の人と家族の会静岡県支部 副代表	石田 友子
委員	（一社）静岡県歯科医師会 専務理事	大内 仁之
委員	静岡県地域包括・在宅介護支援センター協議会 副会長	柿島 里香
委員	静岡県リハビリテーション専門職団体協議会 事務局長	菊池 和幸
委員	静岡県慢性期医療協会 会長／（公社）静岡病院協会 理事	木本 紀代子
委員	静岡県老人保健施設協会 会長	小出 幸夫
委員	静岡県ホームヘルパー連絡協議会 会長	小林 聖子
委員	（一社）静岡県介護福祉士会 副会長	齋藤 升美
委員	（社福）静岡県社会福祉協議会 常務理事	高橋 邦典
委員	静岡県自治会連合会 会長	瀧 義弘
委員	袋井市長	原田 英之
委員	（特非）静岡県介護支援専門員協会 副会長	深澤 康久
委員	（公社）静岡県薬剤師会 常務理事	山口 宣子

全体の流れ

	～令和元年				令和2年度			
	～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
社福審	6/14● 計画進捗 人材確保					●1回(7月書面) 計画進捗・策定 地域共生		●2回(2/19) 計画本文
(県) N会議	1回(5/7)● 各部会の報告			2回(3/25) ● ・課題まとめ ・県方針検討		1回(9/1)● ・計画骨子 ・各部会の報告	2回(12/22) ● ・在宅医療等 ・計画本文	3回(3/16) ● ・最終審議
推進・策定 部会		1回(8/8) ・進め方 ・進捗(①医療・ 介護、②認知症)	2回(11/6) 進捗(③自立支援、 ④サービス量、 ⑤人材)	3回(2/26) ・課題まとめ ・県方針検討		1回(8/19) ・骨子 ・課題対応方針 (共生 他)	2回(11/18) ・本文 ・サービス量	3回(2/17) ・本文(具体的 な取組) ・サービス量
認知症部会 リハ部会	2回(3/5) ・H30実績 ・R1計画 2回(2/19) ・地域リハの推進	1回(8/28) ・大綱 ・進捗 1回(9/10) ・全体像 ・課題		2回(1/28) ・課題まとめ ・R2計画 2回(2/4) ・課題対応方針	1回(6月～書面) ・施策の方向性	2回(9/8) ・計画本文 1回(7月～書面) ・施策の方向性	2回(10/14) ・計画本文	3回(2/9) ・計画・R3方針 3回(2/4) ・計画・R3方針
圏域会議	1回(2・3月) 進捗(①医療介護連携、 ②認知症)	2回(8・9月) 進捗(③サービス基盤、 ④自立支援)	3回(12月) 進捗(⑤その他、課題 のまとめ)			1回(7月書面) ・課題対応方針 (素案)	2回(10月) ・本文 ・サービス量 ・在宅医療等	3回(1月) ・本文(具体的な取 組) ・サービス量
県		ニ ー ズ 調 査 市 町 へ 依 頼 ○課題の整理 (県、広域、市町に仕分け) 地域分析(市町ヒア基礎資料作成)			骨子作成	本文(課題・施策の方向性)作成	計画(最終案)作成 パブコメ実施(12/28～1/20)	計画 策定
国 市町		担当課長会議		(インセンティブ) (指針項目新旧) 担当課長会議 利用開始予定 推計ツール	調査公表 ニ ー ズ (県方針確認) ヒアリング	担当課長会議 (基本指針)	サービス量推計 ヒアリング(2回実施) ①自然体推計終了後 ②施策反映推計後 サービス量・保険料仮設定 各市町計画策定委員会 (年3～4回)	サービス量 最終集計

計画の構成（現行と次期計画の対比）

現行（第8次）計画		次期（第9次）計画		構成の変更の考え方
大柱	中柱	大柱	中柱	
第1	健康づくり、社会参加の促進	第1	誰もが暮らしやすい地域共生社会の実現	○地域共生社会の実現 ・8次計画の第2と第5の柱を統合。 ・同時改定となる 地域福祉支援計画と調和 を図り、地域における包括的支援に関する内容を盛り込んだ。
	1 健康寿命を延ばす取組 2 生きがいづくり活動・社会参加の促進		1 分野を越えた福祉の推進 2 地域活動の推進	
第2	共に支え合う地域社会の実現	第2	健康づくりと介護予防・重度化防止の推進	○新型コロナウイルス感染症 ・中柱4に小柱「 感染症対策の推進 」を 新設 し、日常生活における感染症対策や誹謗中傷の防止等を盛り込んだ。
	1 安心と自立を支える共生社会の推進 2 ふじのくに型福祉サービスの推進 3 地域における支え合い活動の推進		3 地域共生社会の環境整備 4 安全・安心の確保	
第3	認知症にやさしい地域づくり	第3	在宅生活を支える医療・介護の一体的な提供	○健康づくりと介護予防・重度化防止の整理 ・ 健康づくりと介護予防・重度化防止を一体的に進める 観点から、8次計画の第1と第4-4を統合。 ○地域リハビリテーションの全体像を提示 ・健康づくりから発症後のリハビリまで、各段階で多職種が協力して、切れ目なく取り組むための 全体像を提示 。
	1 認知症の人とその家族への支援 2 状態に応じた適時・適切な支援体制の構築 3 若年性認知症施策の推進		1 静岡県が目指す地域リハビリテーションの姿 2 各段階における地域リハビリテーションの充実 3 科学的知見に基づいた健康寿命の延伸	
第4	自立と尊厳のある暮らしを支える長寿社会づくり	第4	認知症とともに暮らす地域づくり	○全体的な体系の見直しに伴い大柱に位置付け。 ○人生の最終段階に関する中柱の新設 ・ A C Pの普及、介護施設や在宅での看取りの推進 について記載を拡充。
	1 介護サービスの充実・強化 2 適正な介護保険制度の運営（適正化計画） 3 医療・介護の一体的な提供体制の充実・強化 4 自立支援、介護予防・重度化防止 5 人材確保・資質の向上		1 在宅医療・介護連携の推進 2 在宅医療のための基盤整備 3 人生の最終段階を支える体制整備	
第5	誰もが暮らしやすい長寿社会の環境整備	第5	自立と尊厳を守る介護サービスの充実	○認知症施策推進大綱 ・2019年度に認知症施策推進大綱が示されたことから、改めて、認知症施策の 体系を「知る」、「遅らせる」、「支え合う」、「暮らす」の視点で整理 。
	1 住まいの安定的な確保 2 安全・安心の確保 3 暮らしやすい社会の仕組みづくり		1 介護サービス基盤の整備 2 介護サービスの質の確保・向上 3 介護サービスの安全対策の推進 4 利用者及び介護家族等への支援 5 適正な介護保険制度の運用（適正化計画）	
		第6	地域包括ケアを支える人材の確保・育成	○全体的な体系の見直しに伴い大柱に位置付け。 ○介護サービスの安全対策の推進の拡充 ・新型コロナウイルス感染症の流行を受け、小柱に「 介護事業所の感染症対策 」を 新設 。
			1 介護職員の確保・育成 2 ケアマネジャーの確保・育成 3 多様な担い手の確保・育成	
				○計画推進部会等での進捗管理を踏まえた整理 ・各会議での議論が人材確保に集中するなど、重要な課題であることから、 大柱に位置付け 。 ・ 専門職から外国人、地域住民まで多様な人材について記載 。

計画の理念と施策の体系

【理念】 地域で支え合い、健やかに、安心して最期まで暮らせる長寿社会の実現

